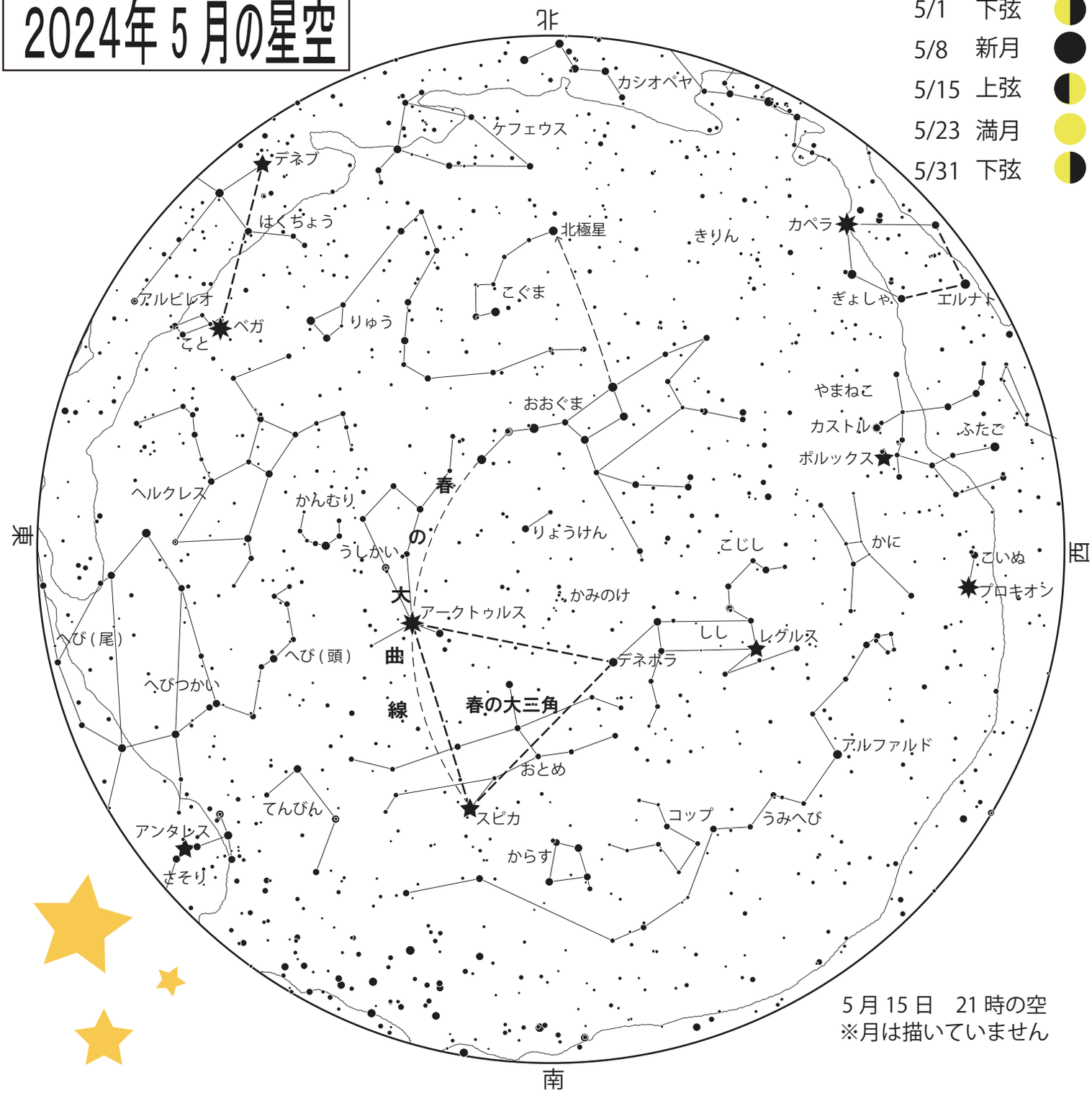
姫路で見る 2024年5月の星空

図の中心が頭の真上（天頂）、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

姫路科学館
Himeji City Science Museum

5/1　下弦
5/8　新月
5/15　上弦
5/23　満月
5/31　下弦



5月15日　21時の空
※月は描いていません

5月、暦のうえでの夏のはじまり「立夏」を迎え、新緑の中を爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。冬の間、星空で良い目印になっていた冬の大三角は西の地平線に沈んでいきましたが、春の空にも“空の道しるべ”があります。まずは北の空で北斗七星を探してください。北斗七星は7つの星からなるひしゃくの形で、春の星座「**おおぐま座**」の体の一部に当たります。ひしゃくの水をすくう側の端にある星を2つ結び、北の空へ5倍延ばすと北極星が見つかります。北極星は「**こぐま座**」のしっぽの星です。ひしゃくの柄の部分は、緩やかなカーブになっています。このカーブをそのまま伸ばしていくと、「**うしかい座**」の1等星アークトゥルス、「**おとめ座**」の1等星スピカに結ばれます。さらにカーブを伸ばしていくと、終点には歪んだ四角い星の並びがあります。これは「**からす座**」です。北斗七星からアークトゥルス、スピカ、からす座までをつないでできる、この大きなカーブが「**春の大曲線**」です。

春の星空の南北を覆うように延びる春の大曲線を眺めていると、心まで伸びやかに広がっていくようです。夜の散歩が楽しい時期、ぜひ本当の星空を見上げてみてください。